

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン			担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	令和3年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 伊藤 史恵			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法第15条			関係する計画、通知等	がん対策推進基本計画(第3期)(平成30年3月閣議決定) 日本再興戦略2016(平成28年6月閣議決定) 未来投資戦略2018(平成30年6月閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略2016(平成28年5月閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略2017(平成29年6月閣議決定) 健康・医療戦略(平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更) 今後のがん対策の方向性について(平成27年6月) がん対策加速化プラン(平成27年12月) 緩和ケア推進検討会報告書(平成28年4月)				
主要政策・施策				主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人ががんにかかると推計されているなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たにごんゲノム医療推進、希少がん及び小児がん、ライフステージに応じたがん対策が求められていることから、これらの新たなニーズに対応するため、がん医療に携わる専門的な知識・技能を有する医師及びその他医療従事者を養成する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	がんに係る多様な新ニーズに対応するため、大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、ゲノム医療従事者、希少がん及び小児がんに対応できる医療人材、ライフステージに応じたがん対策を推進するがん専門医療人材養成に係る優れた取組を支援する。 【補助率:定額補助】								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	957	704	458	-	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	4	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	▲4	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		953	708	458	0	0		
	執行額		953	707	457				
執行率(%)		100%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		100%	100%	100%					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
計		-	-						
活動内容 (アクティビティ)	選定大学を対象に、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成を行うための取組を支援する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	各大学の特色を踏まえた、ゲノム医療従事者の養成に関する教育プログラムの構築	がん専門医療人材養成に係るプログラム・コース実施数(ゲノム医療関係)	活動実績	件	57	60	69	-	-
			当初見込み	件	62	61	58	-	-

単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	執行額/採択件数 (事務費は除く)			百万円	87	64	42	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	計算式	執行額/採 択件数	956百万円/11大学	704百万円/11大学	457百万円/11大学	-		
	令和3年度までにがん専門 医療人材(ゲノム医療関係) を815人養成する	各大学が設定したがん専門 医療人材養成プログラム・ コースにおける分野別養成 人数		成果実績	人	495	706	993	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度
				目標値	人	454	637	815	-	815
				達成度	%	109	111	121	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	成果実績:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン取組状況調査 目標値:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン申請書 教育プログラム・コース 受入目標人数									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	各大学の特色を踏まえた、 起床がん及び小児がんに対 応できる医療人材の養成に 関する教育プログラムの構 築	がん専門医療人材養成に係 るプログラム・コース実施数 (希少がん・小児がん関係)		活動実績	件	39	39	53	-	-
				当初見込み	件	45	44	44	-	-
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	令和3年度までにがん専門 医療人材(希少がん・小児が ん関係)を449人養成する	各大学が設定したがん専門 医療人材養成プログラム・ コースにおける分野別養成 人数		成果実績	人	221	292	475	-	-
				目標値	人	248	349	449	-	449
				達成度	%	89	84	105	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	成果実績:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン取組状況調査 目標値:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン申請書 教育プログラム・コース 受入目標人数									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	各大学の特色を踏まえた、 ライフステージに応じたが ん対策を推進する人材の養 成に関する教育プログラ ムの構築	がん専門医療人材養成に係 るプログラム・コース実施数 (ライフステージ関係)		活動実績	件	81	87	92	-	-
				当初見込み	件	95	94	94	-	-
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	令和3年度までにがん専門 医療人材(ライフステージ関 係)を1,084人養成する	各大学が設定したがん専門 医療人材養成プログラム・ コースにおける分野別養成 人数		成果実績	人	614	865	1,136	-	-
				目標値	人	608	847	1,084	-	1,084
				達成度	%	101	106	104	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	成果実績:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン取組状況調査 目標値:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン申請書 教育プログラム・コース 受入目標人数									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	各大学の特色を踏まえた、 その他がん対策を推進する 人材の養成に関する教育プ ログラムの構築	がん専門医療人材養成に係 るプログラム・コース実施数 (その他)		活動実績	件	30	31	38	-	-
				当初見込み	件	36	36	36	-	-
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	令和3年度までにがん専門 医療人材(その他)を293人 養成する	各大学が設定したがん専門 医療人材養成プログラム・ コースにおける分野別養成 人数		成果実績	人	94	130	173	-	-
				目標値	人	158	227	293	-	293
				達成度	%	59	57	59	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	成果実績:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン取組状況調査 目標値:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン申請書 教育プログラム・コース 受入目標人数									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	令和3年度までのがん専門 医療人材養成に関するシン ポジウムやセミナー等への 参加大学を2,551大学とする	各大学が設定したがん専門 医療人材養成に関するシン ポジウムやセミナー等の参 加大学数		成果実績	校	2,390	3,074	4,018	-	-
				目標値	校	1,555	2,054	2,654	-	2,654
				達成度	%	154	150	151	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	成果実績:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン取組状況調査 目標値:多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン申請書 達成目標・評価指標									

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	4 個性が輝く高等教育の振興		
	政策評価	施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf
				該当箇所	3頁
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	-
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		
該当箇所					

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人ががんにかかると推計されているなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たにがんゲノム医療推進、希少がん及び小児がん、ライフステージに応じたがん対策が求められている。本事業はこういった社会のニーズを反映しているものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、「がん対策推進基本計画」や「健康・医療戦略」、「日本再興戦略」等に盛り込まれた人材養成を推進するものであり、政策の優先度が極めて高い事業である。「がん対策基本法」には、がん対策の策定・実施は国の責務と明記されており、国が人材養成を担う大学に対して、財政支援を行いながら強力に推進する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、「がん対策推進基本計画」や「健康・医療戦略」、「日本再興戦略」等を踏まえ、がん専門医療において、現在求められている多様なニーズに対応できる人材の養成を推進するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性を確保する。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて精査をしているため、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて、支出先・使途を把握し、厳正に確認することで妥当なコスト水準を確認することとしている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	交付決定・額の確定の際に、連携先や分担金について厳正に確認するなど、資金の流れを確認することとしている
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付決定・額の確定の際に、支出先・使途について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定する。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の実施に当たっては、事業の中間評価の結果を各大学の経費配分に反映させるなど、効率化に努める。

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業の目的は、優れた専門医療人材を養成するとともに教育体制の充実を図ることであり、医療人材の養成数は一部の分野で当初見込みに達していないが、概ね成果目標に見合ったものとなっている。また、中間評価の結果を大学に伝え、改善を促している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国公私立大学を通じた競争手環境の下、国として進めるべき事業を積極的に推進する大学の取組を選定・支援するため、効果的・低コストで実施することができる事業である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	特定のプログラム・コースへの受講生の関心が高くなること等により、当初見込みにおいて想定していた数に達していないが、概ね同程度の人材養成プログラム等を行っている。また、中間評価の結果を大学に伝え、改善を促している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	各大学における取組状況や中間評価・事後評価に関する情報等各種事業に関する情報はウェブサイトに掲載するなど、広報に努めており、大学関係者等に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「がん対策推進基本計画」や「健康・医療戦略」、「日本再興戦略」等に盛り込まれた人材養成を推進し、かつ、がん医療において、現在求められている多様なニーズに対応できる人材の養成を推進するものであり、国が実施すべき事業である。補助事業者の選定にあたっては第三者委員会にて選定することとなり、競争性・公平性も確保している。		
	改善の方向性	本事業の進捗状況について、毎年度、書面によりその取組実績等を確認するとともに、事業開始から3年目となる令和元年度に中間評価を実施し、その評価結果を大学に伝え、次年度以降の事業の改善を促した。		
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
終了予定	この事業は当初計画に基づき、令和3年度をもって予定通り終了。今後は、成果指標の一層の工夫について留意しつつ新たな事業を構築すべきである。本事業により得られた成果については適切に活用すること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
予定終了通り	本事業については、事業終了後の事後評価委員会を実施済みであり、各大学には引き続き本事業の成果を適切に活用するよう所見等でも通知済み。			
備考				
-				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	新29-0019			
平成29年度	新29-0017			
平成30年度	133			
令和元年度	文部科学省 - 0126			
令和2年度	文部科学省 0128			
令和3年度	2021 文科 20 0134			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
(458百万円)

謝金:0.5百万円
庁費:0.1百万円 を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。

【公募・補助金等交付】

A.大学(全11大学)
(458百万円)

各大学がそれぞれの個性や特色を生かした大学間連携により、ゲノム医療従事者、希少がん及び小児がんに対応できる医療人材、ライフステージに応じたがん対策を推進するがん専門医療人材を養成する。

【分担金】

B.連携大学(全70大学)
(458百万円のうち281百万円)

申請担当大学と相互に連携・補完をして優れたがん専門医療人を養成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.北海道公立大学法人札幌医科大学			B.国立大学法人旭川医科大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	連携3大学への分担金	37	人件費・謝金	特任助教雇用経費等	15
人件費・謝金	特任教員雇用経費等	15	その他	通信運搬費等諸経費	1
間接経費	光熱費等	3			
その他	外注費	0.6			
旅費	国内出張旅費等	0.1			
計		55.7	計		16

